

自然系学芸員シマムーの にここに通信 NO.1

みなさんこんにちは。今日は自然系学芸員の「シマムー」から、とても珍しい報告をさせていただきます！



この写真は市川漁港に停泊している「薫風丸」です。海苔すき体験に使うノリを提供していただいたり、ノリの養殖の様子を見学していただいたり、何かとお世話になっている市川漁協さん。最近では、「トラフグが網にかかったから持っていきな！」と、ご連絡があり博物館の大水槽の新たな仲間に加わりました。10月18日にも声をかけていただきました。

漁師さんの身長を優に超える、サメが網にかかったようです。我々が到着した時には、まだまだ元気に暴れていました。このサメを、何とか自転車で運べないか頑張ってみました。あまりに元気すぎて車で迎えに来てもらうことに……。口の中を観察してみると、三角形のギザギザの歯がたくさん生えていました！とってもサメらしい口の中！



このサメの名前は「ニタリ」と言って「ネズミザメ目オナガザメ科」に属しています。主に外洋に生息しているサメなので、東京湾で漁獲されることは大変珍しいです。このサメの特徴は、やはり何と云っても、全長の半分はあろうかという尾ですね。体をやや前傾しながら小魚の群れに飛び込み、群れの中でこの長い尾をムチのように振ります。この尾に当たって弱った魚をパクリと食べるわけです。動物の体は、自分たちがよりよく生きていくために進化をしてきたんです。この独特のニタリの体も、ちゃんと理由があるんですね。他にも、いろいろな形をした魚や動物、植物がいますね。なんでこんな形をしているんだろう？って考えてみるのもとても楽しいですよ！



QRコードを読み込むと「浦安市郷土博物館」のホームページが開きます。

